

平成 27 年度 妙高市生徒指導部 活動報告

部長 望月 正樹 (妙高小)

1 研修について

いじめ、不登校対策の現状と課題について考える
～園・小・中・特別支援学校での取組から～

2 研修の概要

- (1) 事業計画の検討をする (第 1 回部会)
- (2) 研修を行い情報交換する。(第 2 回部会)
- (3) 外部講師による講演会を行い、質疑応答も含めて全員で中味を共有する。
(第 3 回部会)

3 研修の実際

(1) 春の研修 4月22日(水曜日)

- ①平成 27 年度妙高市教育研究会の組織及び事業の確認
- ②平成 27 年度重点部会生徒指導部会の捉え方の確認

(2) 夏の研修 8月20日(木曜日)



- ① いじめ・不登校を中心とした事例発表会の開催
妙高市内の中学校区を二つに分けて、保・小・中・特別支援学校の部員から事例発表をする。
- ② 上記に関しての質疑応答、意見交換、意見集約の実施
～実際の部員の声から～
「幼・小・中学校と子どもたちの成長の流れを追いながら話し合いができ、参考になりました。」
「発表の該当の子がどんな子かよく分からないの

で、具体的な方策があっているかどうか不安です。」

(3) 秋の研修会 11月16日(月曜日)



- ①外部講師による講演会実施
講師：上越市立諏訪小学校長 五十嵐守男 様
演題：『『社会的なリテラシー』育成のための連携の在り方～『チーム学校』の実現に向けて』
- ②講演内容に関するアンケートの実施
～実際の部員の声から～
「現在当校でも問題となっている事案にかかわる、具体的な連携の方法や事例について講義をいただき、

大変有効な研修会でした。」「特別支援学校にとっても、参考になることが多々ありました。校内で具体的に生かせる点について、情報を発信していきたいと思います。

4 成果と課題

生徒指導部会を積み重ねる中で、各校が抱えている課題が見えてきた。いじめ、不登校は学校の規模の大小にかかわらず起こりうる事象なので、早めに察知し外部機関とも積極的にかかわることを再確認できた。

問題のある行動に関しては、児童生徒の「社会的リテラシー」「望ましいコミュニケーション能力」を存分に発揮できる場所がほしい。また、それらに関して子どもたちの能力を育てる「場」と、育てる周りの「力量」が課題であることを再度確認した。